

# 地域防災力とソーシャルキャピタルの関係と減災に向けて～岐阜市日置江地区を対象にして

高木 朗義<sup>1</sup>・山崎 祐輔<sup>2</sup>・倉内 文孝<sup>3</sup>

<sup>1</sup>岐阜大学教授 社会基盤工学科 (〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1)  
E-mail: a\_takagi@gifu-u.ac.jp

<sup>2</sup>群馬県技師 西部県民局高崎土木事務所 (〒370-0805 高崎市台町 4-3)  
E-mail: yamazaki-yusuke@pref.gunma.jp

<sup>3</sup>岐阜大学准教授 工学部社会基盤工学科 (〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1)  
E-mail: kurauchi@gifu-u.ac.jp

近年、防災対策の中でも、自助・共助の重要性が高まっている。一方、地域の近所付き合いは希薄化している傾向があり、このような状態は防災面において好ましくないと言われている。本研究では、近所付き合い、すなわち住民のコミュニティとの関連性を示す指標としてソーシャルキャピタルを用い、地域防災力との関係を明らかにするとともに、地域防災力向上に向けた検討を行う。具体的には、岐阜市日置江地区住民を対象にアンケート調査を実施し、実際の地域防災力とソーシャルキャピタルの現状を評価するとともに、共分散構造分析によりソーシャルキャピタルと地域防災力の関係性を検証した。その結果、ソーシャルキャピタルから地域防災力への因果関係が示唆された。特に、ソーシャルキャピタルは共助に強く影響を及ぼし、地域防災力向上のためにソーシャルキャピタルを培養させることが有意義であることがわかった。

キーワード：地域防災力，ソーシャルキャピタル，共助，共分散構造分析